

年 月 日

産科婦人科の外来診療あるいは入院診療を受けられた患者さんへ

「卵巢癌における ARID1A 関連タンパク質に関する検討」 への協力をお願い

産科婦人科では、下記のような診療を受けた患者さんの試料・情報を用いた研究を行います。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

研究の対象：2013 年 1 月 1 日～2023 年 3 月 31 日の間に、当科において、婦人科癌手術を受けられた方

研究期間：研究機関の長の研究実施許可日～2028 年 3 月 31 日

研究目的・利用方法：

ARID1A 遺伝子変異は、卵巢明細胞がん、胆道がん、胃がんなどでアジア人に多いがんで高頻度にみられ、特に卵巢明細胞がんは日本人に多く認められます。卵巢明細胞がんの約半数はⅠ期で進行例は少ないですが、化学療法薬剤感受性が低いです。そのため、完全切除が難しい進行例では治療に難渋します。そこで、ARID1A 遺伝子産物およびその関連タンパク質の発現と卵巢癌との関連を調べ、標的分子の同定を行うために、臨床病理学的検討を行います。

研究に用いる試料・情報の項目：

摘出した組織の分子標的治療のターゲットとなりうるタンパク質分子特異的抗体を用いた免疫組織化学染色を行います。ARID1A, SOX17 など腫瘍増殖に関する分子を標的とします。患者基本情報（年齢、既往歴、家族歴）、検査結果（病理検査、病期、血液検査、画像検査）、治療経過（治療内容、転帰、予後）などとの関連を調査します。上記の情報は診療データから採取します。これらは通常の日常診療によって得られた情報です。

研究に用いる試料・情報の利用を開始する予定日：研究実施許可日以降

研究への参加辞退をご希望の場合

本研究に関して新たに患者さんに行っていただくことはありませんし、費用もかかりません。本研究の内容や研究結果等について質問等がありましたら以下の連絡先まで問い合わせください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて了承いただけない場合には研究対象としませんので、以下の連絡先まで申し出ください。なお、本研究は、岐阜大学大学院医学系研究科医学研究等倫理審査委員会において審査、承認され、研究科長・病院長の許可を得ております。また、この研究への参加をお断りになった場合にも、将来にわたって当科における診療・治療において不利益を被ることはありませんので、ご安心ください。

研究から生じる知的財産権の帰属と利益相反

研究者及び岐阜大学に帰属し、研究対象者には生じません。研究の結果の解釈および結果の解釈に影響を及ぼすような「起こりえる利益相反」は存在しません。

研究責任者

岐阜大学医学部附属病院 産科婦人科
氏名：竹中 基記

連絡先

岐阜大学医学部附属病院 産科婦人科
電話番号：058-230-7849
氏名：竹中 基記

【苦情窓口】

岐阜大学医学系研究科・医学部 研究支援係
〒501-1194
岐阜県岐阜市柳戸1番1
Tel：058-230-6059
E-mail：rinri@t.gifu-u.ac.jp